



■梱包明細

※取付け前に必ず梱包内容をご覧ください。

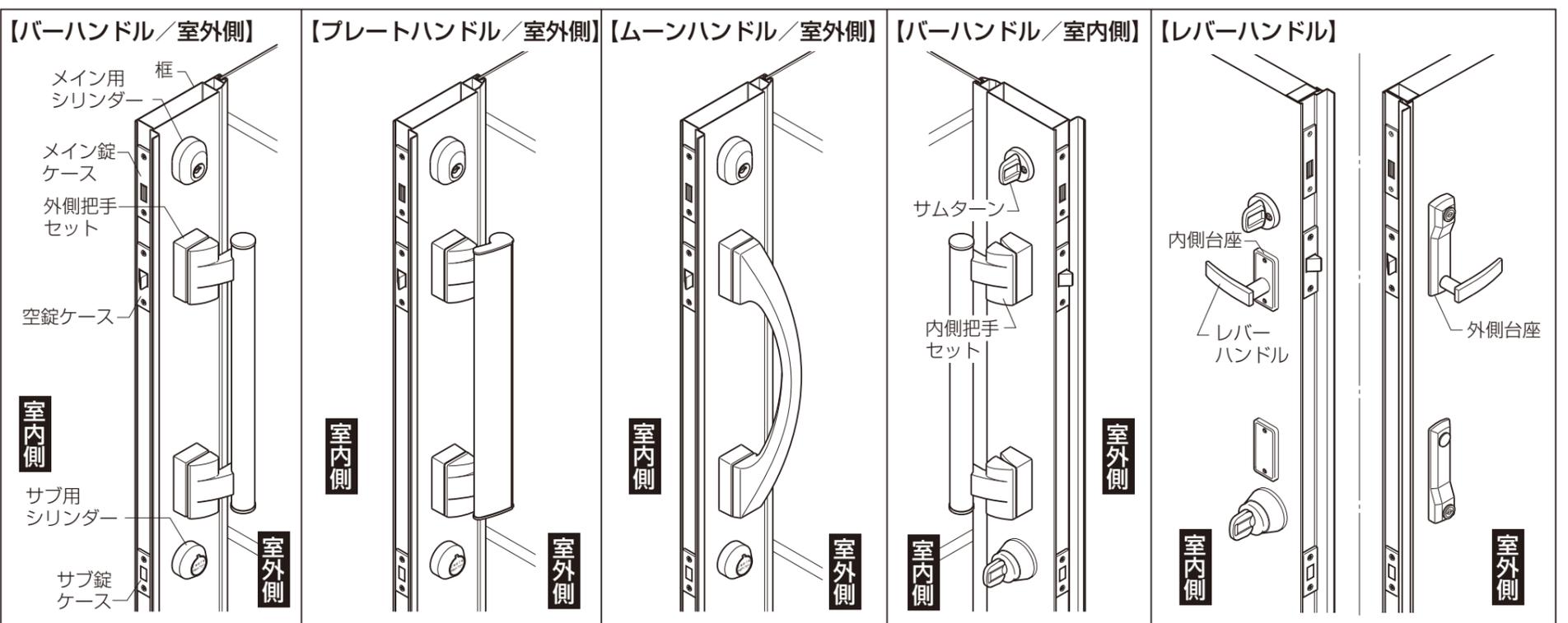
■把手セット

名称	入数	詳細
外側把手セット	1 個	—
内側把手セット	1 個	皿小ねじ(レバーハンドルの場合トラス小ねじM5×20)M5×30 / 4本
錠ケースセット	1セット	メイン錠ケース / 1個、サブ錠ケース / 1個、空錠ケース / 1個、皿タッピンねじM4×12 / 6本、皿小ねじM4×16 / 6本(断熱ドア使用のとき)
シリンダーセット	1セット	シリンダーユニット(メイン・サブ) / 各1個、サムターン、トラス小ねじM5×45 / 2本 内側台座カバー / 2個(室内ムーンハンドルの場合ねじカバー / 2個)、皿小ねじM4×14 / 4本(室内ムーンハンドルの場合のみ)
セキュリティサムターンセット	1セット	セキュリティサムターンユニット / 1個、サムターンキー / 2本、サムターン座 / 1個、皿小ねじM5×70 / 2本
鍵セット	1セット	オーナーキー / 1本、子鍵 / 4本、工専用キー(コンストラクションキー) / 3本
取付け説明書	1 枚	—
お施主さま用取扱い説明書	1 冊	袋入り

■固定把手セット

名称	入数	詳細
外側把手セット	1 個	—
内側把手セット	1 個	皿小ねじM5×30 / 4本、皿小ねじM4×14 / 4本(室内ムーンハンドルの場合のみ)
内側台座カバー	2 個	(室内ムーンハンドルの場合ねじカバー / 2個)

■取付け完成図



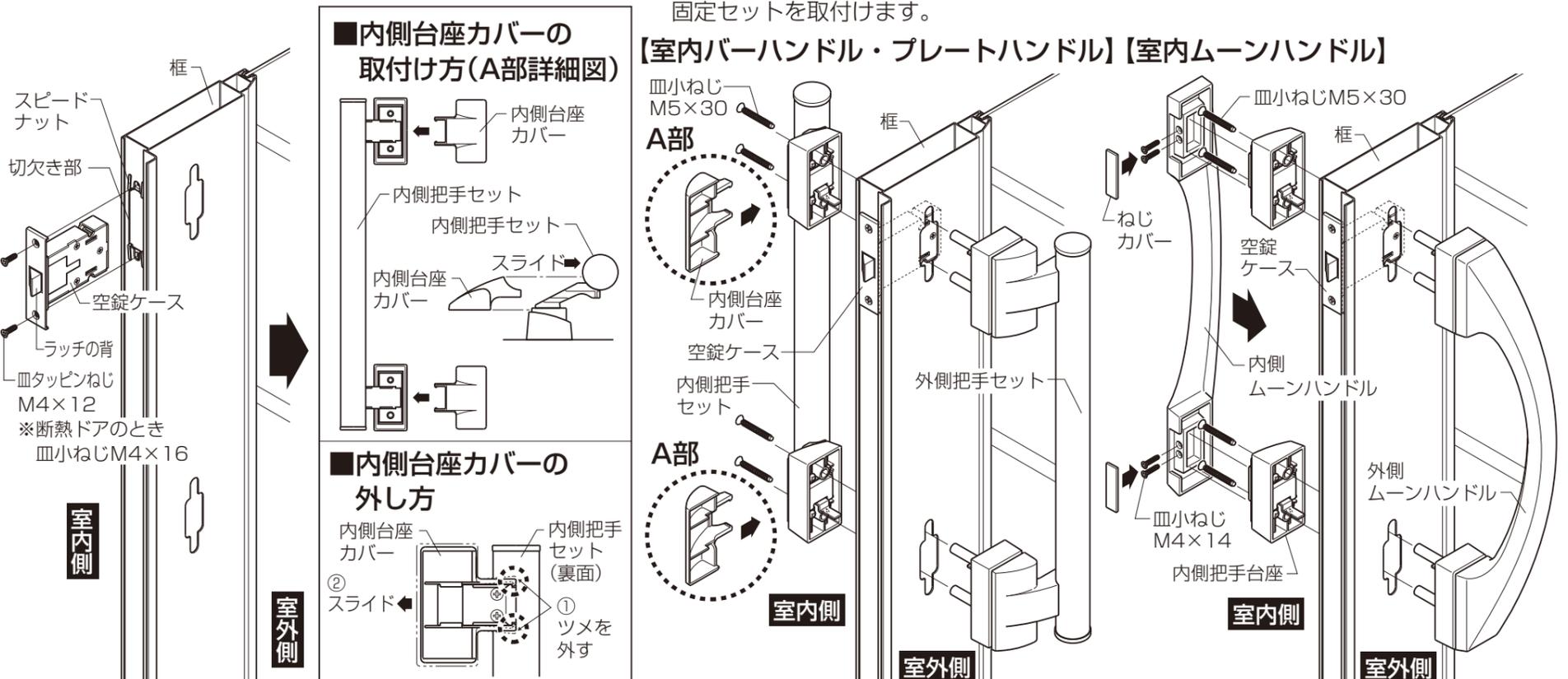
■把手の取付け

■室内バーハンドル・プレートハンドルの場合

- ①ラッチの背を室外側に向け、皿タッピンねじで框に空錠ケースを取付けます。
- ②外側把手セットを室外側から差込みます。
- ③内側把手セットを皿小ねじで取付けます。
- ④内側台座カバーを内側把手セットに取付けます。両開き子扉には、上記②・③・④の手順で固定セットを取付けます。

■室内ムーンハンドルの場合

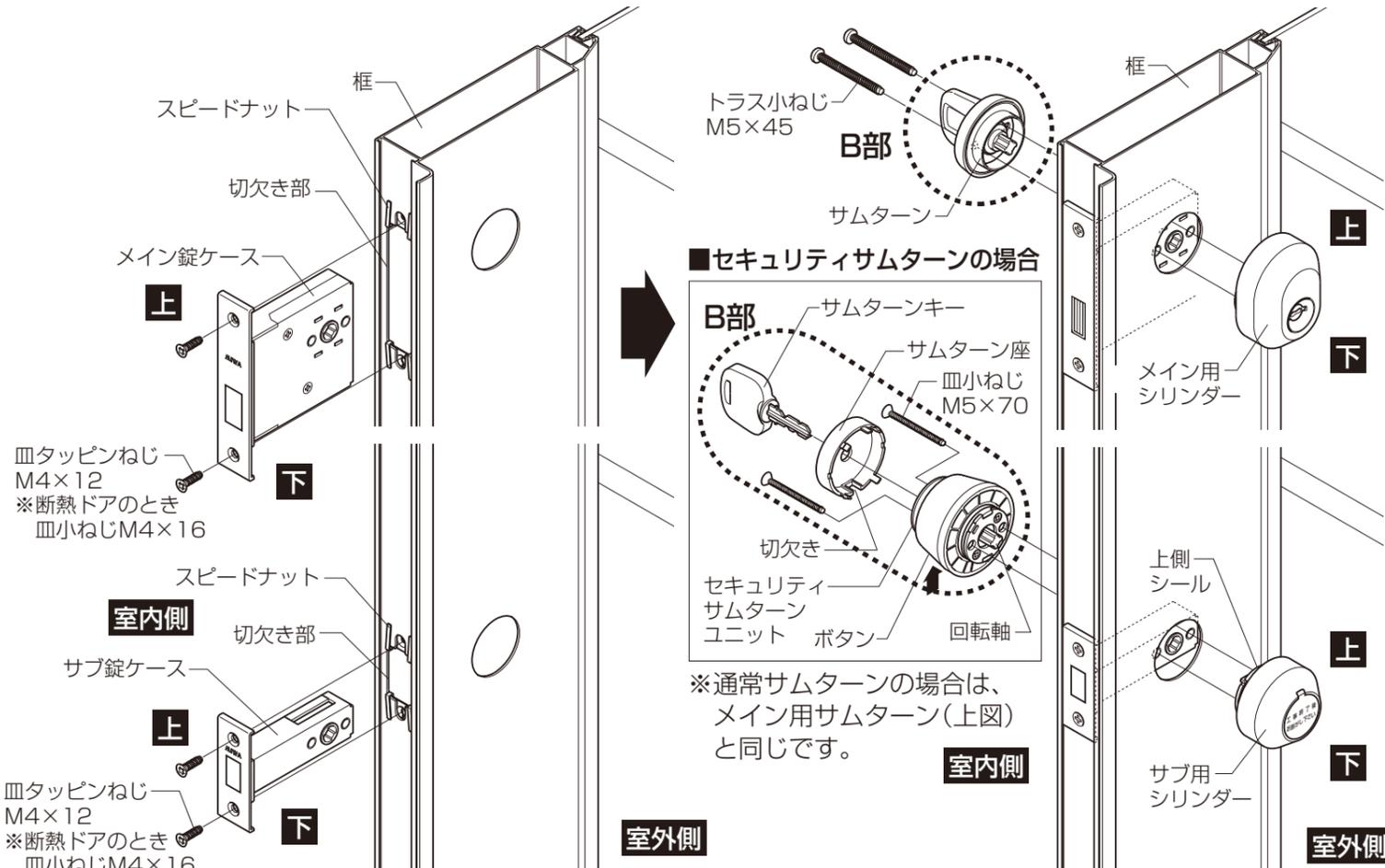
- ①ラッチの背を室内側に向け、皿タッピンねじで框に空錠ケースを取付けます。
- ②外側把手セットを室外側から差込みます。
- ③内側把手台座を皿小ねじで固定します。
- ④内側把手台座の突起部分に室内ムーンハンドルを差込みます。
- ⑤内側把手台座と室内ムーンハンドルを戸先側から皿小ねじで固定します。
- ⑥ねじカバーを室内ムーンハンドルに取付けます。両開き子扉には、上記②～⑥の手順で固定セットを取付けます。



■メイン錠ケース及びサブ錠ケースの取付け

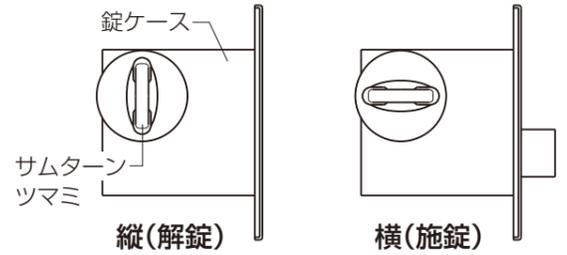
- ①皿タッピンねじでメイン錠ケースを取付けます。
- ②皿タッピンねじでサブ錠ケースを取付けます。
- ③メイン用シリンダー(大きい方)のリクシルマークを上に向けます。
- ④メイン用シリンダーの出っ張り(4カ所)を、メイン錠ケースの角穴に合わせて差込みます。
- ⑤サムターンをトラス小ねじでメイン用シリンダーに取付けます。
- ⑥サブ用シリンダー(小さい方)の上側シールを上に向けます。
- ⑦サブ用シリンダーの出っ張り(4カ所)を、サブ錠ケースの角穴に合わせて差込みます。
- ⑧セキュリティサムターンユニットの回転軸を、ダルマの向きに合わせて垂直にし、皿小ねじでサブ用シリンダーに取付けます。
- ⑨サムターン座の切欠きを、セキュリティサムターンユニットのボタンの向きに合わせてはめ込みます。
- ⑩ボタンを上押ししながら、サムターンキーを差込みます。(ボタンが戻るとサムターンキーは抜けなくなります。)

※メイン錠ケース・サブ錠ケースは、「MIWAマーク」を上にして取付けてください。



■サムターンツマミの操作(B部詳細図)

※サムターンツマミは縦にして取付けてください。



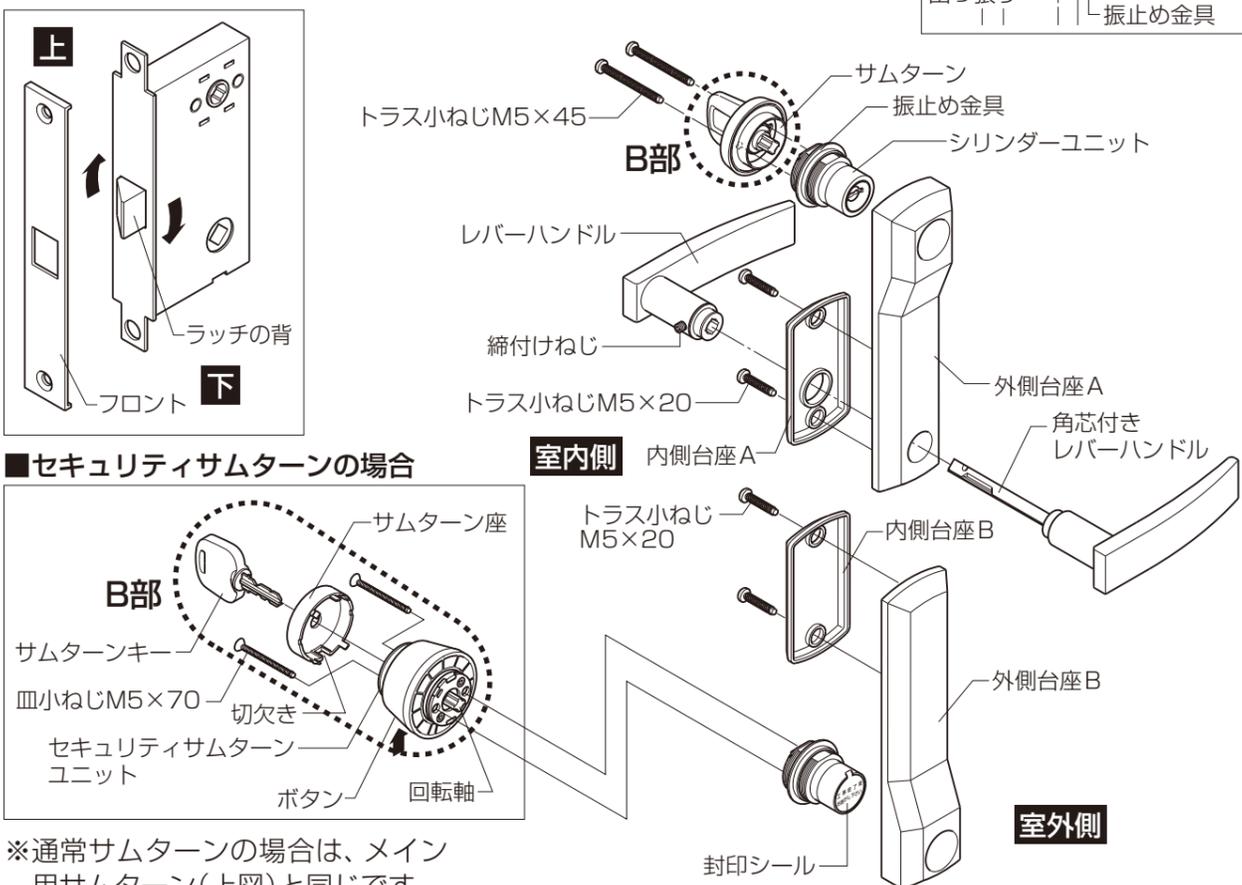
●お願い

- メイン用シリンダーの取付けについては、把手セット内の取付け説明書をご覧ください。
- 同梱の注意ラベルを、サムターン座の下に張ってください。



■レバーハンドルタイプ

- ①フロントを外し、ラッチを回転させてラッチの背を室外側に向けます。
- ②シリンダーユニットの振止め金具を左に回して緩めます。(右図参照)
- ③サムターンをトラス小ねじでシリンダーユニットに取付けます。
- ④外側台座を室外側から差込みます。
- ⑤内側台座をトラス小ねじで外側台座に取付けます。
- ⑥レバーハンドルを室内外から差込み、締付けねじで固定します。



※通常サムターンの場合は、メイン用サムターン(上図)と同じです。

■コンストラクション装置について

- メインロックには、コンストラクション装置が組込まれています。施工の際は、工事専用のコンストラクションキーをご使用ください。施工後お施主さま専用のキーを使用するとコンストラクション装置が解除され、以後はコンストラクションキーでは開閉できなくなります。
- サブロックには、コンストラクション装置が組込まれていないため、封印シールが張ってあります。施工後、シールをはがし作動を確認した後、お施主さまにお引渡してください。

